

令和4年度働き方改革推進事業キックオフミーティング開催

改革を「本気で」「全ての学校で」「みんなで」進めましょう

道教委では「令和4年度働き方改革推進事業キックオフミーティング」を令和4年5月31日に開催しました。推進校を中心とした学校や教育委員会から約70名の関係者の参加により開催された本会議では、今年度の事業展開に係る説明の他、先進校による事例発表、働き方改革の基本的な考え方等に係る講話、グループ毎の意見交換が行われました。

今号では開催の概要をご紹介します。事例発表と講話はオンデマンド動画を配信していますので、お時間のある際に御覧頂き、是非参考にしてください。

えりも小学校の環境整備（整理整頓）

えりも町立えりも小学校長 佐藤 裕哉

事例発表

- 現状維持バイアスを乗り越え、先生方とともに試行錯誤
- 児童への手本、業務効率化の手段として、職員室の整理整頓を实践
- コミュニケーションの活性化や若手教員の育成に重点をおき、職員室のレイアウトを工夫
- グループウェアの活用により職員間の情報共有を効率化

協働で進める働き方改革

北海道教育庁教職員局教職員課主幹 青木 悟

講話

- 長時間労働が世代を超えて「継承」されないようリーダーが**本気で**取り組む姿勢が重要
- 働き方改革の目的は、教育の質を向上させることであり、**全ての学校で**取り組むべきもの
- 改革を**みんなで**進めるため、トップダウンとボトムアップの両面が必要

グループ意見交換

「教職員の働きがいと働きやすさを両立し、より効果的な教育活動を展開するための働き方改革をどう進めていくか。」をテーマに校種別のグループに分かれ、課題に対する各校の取組等について意見交換をしていただき、以下のようなコメントをいただきました。

教頭業務の軽減	・ PTA業務の縮小化 ・ ボランティアや地域コーディネーターの協力による負担軽減 ・ 事務職員との業務分担 ・ 校務支援システムの活用 ・ 校長や事務長が教頭を支援 ・ 職員室に校長席を設けて情報共有 ・ 校長室で教頭を含めた関係教員へ一括伝達
地域との連携	・ 行事の入場者の健康観察はPTAに依頼 ・ コミュニティスクールによる人材活用 ・ コーディネーターの活躍によって連携が促進
部活動の負担軽減	・ ボランティア活動を部活動化しないで展開 ・ 地域のスポーツクラブとの連携
その他	・ 職員会議、打合せのペーパーレス化等、ICTの活用は多くの学校で進行 ・ 通信簿の所見欄を学年末のみへ ・ 定期テストを廃止し小テストのみへ ・ 給食費の公会計化 ・ メンターによる若手教員への支援

オンデマンド動画

事例発表等の動画を掲載していますので、是非御覧ください。



<http://demand.hokkaido-c.ed.jp/>

※ 上記アドレスにアクセスし、右のID及びパスワードでサインインして視聴してください。

サインイン

hatarakir04

hatarakikata04

サインイン

パスワードを忘れた?